

日本古辞書データセット

シンポジウム「古辞書データ共有と拡張」

2023年1月21日 オンライン

池田 証寿(北海道大学名誉教授)

流れ

対象と規模

形式と字体

注釈と校正

共有と保存

対象と規模

- 長島豊太郎『古字書索引(上下)』日本古典全集刊行会、1958
 - 新撰字鏡・倭名類聚抄・本草和名・伊呂波字類抄・類聚名義抄・字鏡集・龍龕手鑑・説文解字の8辞書
- 『日本国語大辞典』小学館、初版1972-1976、第二版2000-2002
 - 字鏡・和名・色葉・名義・下学・和玉・文明・伊京・明応・天正・饅頭・黒本・易林・日葡・書言・へボン・言海の17辞書

平安時代漢字字書総合データベース(HDIC)

- 全文テキスト公開
 - 2016年4月 宋本『玉篇』
 - 2016年9月 高山寺本『篆隸万象名義』
 - 2018年6月 天治本『新撰字鏡』
 - 2022年3月 観智院本『類聚名義抄』 (以上、TSV形式で公開)
 - (未定) 図書寮本『類聚名義抄』
 - <https://github.com/shikeda/HDIC>
 - <https://viewer.hdic.jp/>
- 翻刻本文と注釈
- 共有と保存のための連携

形式と字体

表2 HDIC収録平安時代漢字字書一覧

No	書名	篆隸万象名義	新撰字鏡
1	作者	前半:空海(774-835) 後半:惹囊三仏陀(伝未詳)	昌住(伝未詳)
2	編纂年代	827-835年	898-901年頃
3	収録総字数	約16,000	約24,000
4	収録項目数	約16,000	約20,000
5	収録注文総字数	約120,000	約190,000
6	編纂動機・態度	出典名省略、簡略化	一切経音義の改編、部首分類化
7	出典種類	玉篇と説文解字(掲出字のみ)	一切経音義、切韻、玉篇、その他
8	出典表示	無表示	部分表示
9	分類方式	部首分類	部首分類・意義分類
10	分巻・構成	前半五十巻後半十五巻、五百四十二部	十二巻・百六十部
11	編纂主体	僧侶	僧侶
12	日本の要素	反切一種、単字義注採用	国字、万葉仮名和訓・和音
13	和訓数	片仮名2	万葉仮名約3,000
14	諸本	高山寺本	天治本・抄録本(和訓項目)
15	書写年代	1114年(高山寺本)	1124年(天治本)
16	逸文	僅少	僅少
17	校訂本文・注釈	全文	部分
18	影印種類	モノクロ凸整版、オフセット網目整版	モノクロ凸整版

類聚名義抄(原撰本)	類聚名義抄(改編本)
未詳(法相真言兼学僧)	未詳(真言僧)
1081年以後	1178年以前
約7,070(全体約32,000推計)	約42,000
約3,600(全体約15,000推計)	約32,000
約130,000(全体約550,000推計)	約310,000
仏典音義の改編、部首分類化	出典名省略、簡略化
多数(仏典音義注釈書、辞書、漢籍訓点本和訓)	多数(異体字と和訓を増補)
全表示	無表示
部首分類	部首分類
一帖・二十部残存	十帖・百二十部
僧侶	僧侶
万葉仮名和訓・片仮名和訓・片仮名字音・声点・ヲコト点	国字、片仮名和訓・片仮名字音・声点
万葉仮名約500+片仮名約1,540 (全体:約2,050+約6,300推計)	片仮名約35,400
図書寮本	観智院本(完本)・高山寺本・蓮成院本・西念寺本・宝菩提院本
12世紀(図書寮本)	1251年以後(観智院本)
僅少	多数
部分	無
コロタイプ	コロタイプ、モノクロ凸整版、オフセット網目整版、カラー版

字体処理

HDICデータベース処理状況(2017年3月時点、掲出字)

漢字字書	Unicode	IDS	其他	合計
篆隸万象名義 高山寺本	15872 (99.2%)	80 (0.5%)	48 (0.3%)	16001 (100%)
新撰字鏡 天治本	21408 (89.2%)	1512 (6.3%)	1080 (4.5%)	24000 (100%)
類聚名義抄 図書寮本	7036 (99.5%)	25 (0.4%)	10 (0.1%)	7071 (100%)
類聚名義抄 観智院本	34213 (80.8%)	7817 (18.5%)	271 (0.7%)	42331 (100%)

翻刻本文の作成

- 難字・略字、声点・ヲコト点等の符号、割注・別筆補入等
- 組版システム
 - LuaLaTeX
 - 花園明朝収録のUnicode漢字(約9万字)
 - グリフウィキ (GlyphWiki) とLaTeXマクロ
 - 金水敏氏、藤田眞作氏、それぞれ作成のLaTeXマクロ
 - LuaLaTeXに対応させるため若干の変更が必要
 - 詳細は次を参照
 - <https://shikeda.github.io/docs/notes/krm-main/notes-output/>

1	嘯 ¹ 山云魚偃 ^上 反 列於大山 ^一	嘯 ¹ 音袖 ^去 ・玉云山也 ² ・ 有穴 ^一	嘯 ¹ 東云尔正作嘯 ^一 山形如重兩瓶 ^一	嘯 ¹ 山形也。案 也。峯也。
2	岨 ¹ 山名。 玉云五骨入輕反	岨 ¹ 音高。俊 ^去 音・玉云長也 ² ・ 速也 ^一 。東云高大也。サカシ ⁵ (平上) 詩 眞云旬 ⁶ 音	眞云旬 ⁶ 音	
3	嵩高 ¹ 應云又玉松思隆 ^平 反山大而高也・東云高山中嶽・ 五嶽之中名 ¹ 。	眞云旬 ⁶ 音		
4	崩 ¹ 中云北勝反毀落也類也眞云山倒也 ² ・玉云補朋反 ³ ・ 子死曰 ¹ 。類毀曰 ¹ 。毀也埤也。クツル ⁵ (平上) 詩 眞云ホウ ^上	崩 ¹ 音天		
5	峙 ¹ ^上 音同 山脚曰 ¹ 。	峙 ¹ 音同		
6	高邊者也。又作厓。書有作涯。宜佳反涯淡無涯際也。釋不可 思議云 ¹ 者側傍也謂河之 ¹ 側傍也・東云叶韻。佳韻キシ切	崖岸 ¹ 音涯 ^平		
7	下順 ⁶ 音與厓 ^一 同。和 ¹ 涯 ^一 同。應云兩厓累者爲 ¹ と 又云重厓也。上タカシ ⁸ (平上) ウタヘ ⁹ (平上) 眞云カ ¹⁰ (平上) カン ^平 口	崖 ¹ 音崖		

1 行目「岨」項目配列入替え。4 行目「玉云補朋反」補入。5 行目「三四六」朱筆。7 行目「又云」也「カイ」カン、虫損。

校注

嘯 (一三八一)

* 掲出字の上に補入符号あり。「嘯」は広韻「語聲切」(去声既韻、言、魚聲切)(上声韻韻)・山の峰、別れた小山、こしきに似た山の意。
1 「山」は「玉」の誤。次項「岨」に「玉云山」⁵とあるのに関連するが、玉篇殘卷「魚聲反、毛詩：陟彼在岨、傳曰：小山別於大山者也。尔雅：重巖、陸、郭璞曰：山形如重兩瓶也。又曰：昆陽研岨、釋名：岨、孔曰：岨、山孤處以爲名也」(卷三、山部)、万象名義「岨、孔曰：岨、山孤處以爲名也」(卷三、山部)、万象名義「岨、孔曰：岨、山孤處以爲名也」(卷三、山部)、山部、和名抄「岨、陸河云山穴似袖似袂反和名久木」(法上二二三)の和訓あり。また、上野本千字文に「岨岨シウ(一)イハホノクキ」あり。

岨 (一三八一)

1 出典注記。「岨」は広韻「似袖切」(去声宥韻、山のほらあな、くき)。
2 玉篇殘卷「祀又反、尔雅：山有穴爲岨、郭璞曰：爲巖穴也、補文爲宥字、在宥部也」(卷三、山部)、万象名義「祀又反、山有穴」(六帖二表)、宮澤比較A。
* 掲出字の上に補入符号あり。「岨」の類にせよ、との指示。また、「岨」(四四一)に重出、新撰字鏡「似袂反、去、山穴、久支」(卷六、二表)と「くき」の和訓あり、和名抄「岨、陸河云山穴似袖似袂反和名久木」(法上二二三)の和訓あり。また、上野本千字文に「岨岨シウ(一)イハホノクキ」あり。

岨 (一三八一)

1 東宮切韻、前々項と同一字、爾雅、岨に作る、山の形なり。案ずるに、山の形、重なる岨の岨の如きなり、峯なり。

岨 (一三八二)

* 「岨」は広韻「五怒切」(入声沒韻、兀)。「岨岨亮山兎」とあり、山が亮山

岨 (一三八二)

1 巖巖註解、無量壽經優婆塞具足論生傳註「岨高、後(大正藏第四十卷、八二九下)。「岨」は広韻「私閏切」(去声移韻心母、後、「俊」は子峻切)(去声移韻精母、佛)で、声母に相違あり。
2 玉篇殘卷「思峻反、尚書：峻高形嶺、孔安國曰：峻高大也、毛詩：爲下國峻后、箋云：峻之言俊也、又曰：不峻其德、傳曰：峻長也、尔雅：峻連也、郭璞曰：峻猶迅速上疾也、險峭之峻爲險字、在阜部也」(卷三、山部)、万象名義「思峻反、長也、速也」(六帖二裏)、宮澤比較B。
3 真興、大般若經に「峻」二例あり。広韻「峻」に「高也、長也、險也、峭也、速也」に一致。「長也」は直前の「玉」に見える。「速也」は玉篇殘卷と万象名義に見えるが、それらを採用。
4 東宮切韻、相好文字抄所引逸文に「切韻」云：岨、私閏反、高大也、とあり(上田切韻逸文)。
5 詩經、毛詩、節南山「節彼南山、有實其猗」の鄭箋に「言南山既高能峻也」(毛詩鄭箋(一)一四七頁)。
6 真興、和音注であるため、「句(去)音」は切韻系韻書詩韻「平声とは異なる、觀智院本にも(和句(去)あり、根津本大般若經に「去声」の事例あり(資料横断的な漢字音・漢語音データベース)。

嵩高 (一三八三)

* 「嵩」は広韻「息弓切」(平声東韻心母)。
1 衣冠音義卷第三、光讚般若經第二卷「嵩高」による。
2 東宮切韻、原文通りなら「高き山、中岳」は、五岳のうちの中岳すなわち嵩山のことであるから、「嵩山、中岳」を誤ったと考えられる。
3 蔣勣切韻、五岳「東岳泰山、南岳衡山、西岳華山、北岳恒山、中岳嵩山」

法上 二八

1	瀧 ¹ 音渚 又組因反	瀧 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	瀧 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	瀧 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也
2	泚 ¹ 徒本反 ヒタ、クホトコス ホトク	泚 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	泚 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	泚 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也
3	沸 ¹ 今ワクカス ^{上上} タキル アハ又音弗 ^フ	沸 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	沸 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	沸 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也
4	澁 ¹ 音鳥谷鳥會 反	澁 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	澁 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	澁 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也
5	濛 ¹ 音蒙 微兩又 莫孔反 ^メ クラシ	濛 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	濛 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	濛 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也
6	溶 ¹ 音古 消俗	溶 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	溶 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	溶 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也
7	凌 ¹ 音正 漕同	凌 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	凌 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	凌 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也
8	澗 ¹ 音正 澗俗	澗 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	澗 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也	澗 ¹ 音也 オヨクウカフ ^{上上平濁} オナシイル入也

注釈と校正

正宗敦夫『類聚名義抄 漢字索引 仮名索引』風間書房、1955年

望月郁子『類聚名義抄 四種声点付和訓集成』笠間書院、1974年

草川昇『五本対照類聚名義抄和訓集成』汲古書院、2000年

狩谷椽齋『箋注倭名類聚抄』1827年成、1883年刊

山田孝雄『新撰字鏡攷異』六合館、1916年

佐藤喜代治『色葉字類抄略注』明治書院、1995年

共有と保存

HNG

CHISE

GlyphWiki

日本国語大辞典